

第8期川崎市スポーツ推進審議会 第2回会議 摘録

日 時：令和6年11月27日（水） 18：00～19：45

場 所：川崎市役所 本庁舎1階101会議室

出席者：齋藤 実（会長）、菊地 正（副会長）、飯田 路佳、大橋 博樹、
増山 雅久、山川 佳美、齋藤 昭之、室谷 龍子、
北野 隆生、渡部 修治、中島 賢司、坂本 竜一（敬称略）

欠席者：松澤 淳子、高村 寛、田代 さとみ（敬称略）

事務局：市民文化局市民スポーツ室

高橋室長、荻田担当課長、片倉担当課長、松山担当課長、石床担当課長、
高橋担当課長、水溜担当係長、高良職員

議事説明員：教育委員会事務局健康教育課 末木担当課長

傍聴者：なし

●会議次第

1 開会

2 議事

- (1) 令和5年度スポーツ関係事業 実施報告について
- (2) 令和6年度上半期スポーツ関係事業 実施報告について
- (3) 市民アンケートについて
- (4) その他
 - ・「かわさき多摩川マラソン2024」の開催報告について

3 閉会

●審議会第2回会議議事録

<p>高橋室長</p>	<p>1 開会</p> <p>市民スポーツ室・室長の高橋でございます。</p> <p>本日は、お忙しい中、第2回審議会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の議題といたしましては、令和5年度と今年度令和6年度の上半期のスポーツ関係事業の御報告と併せて、市民アンケートの実施についてとなっております。この市民アンケートにつきましては、川崎市スポーツ推進計画の改訂の基礎資料となるアンケートとなり、アンケート実施について御報告をさせていただきますが、来年度に計画の改定作業もでございますので、委員の皆様方にも御意見を頂戴したいと考えております。また、令和5年度事業報告及び令和6年度上半期の事業報告とさせていただきますが、皆様のそれぞれのお立場から知識経験を生かした忌憚のない御意見を頂戴できれば我々としても大変ありがたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>水溜係長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>なお本日は松澤委員、高村委員、田代委員から御欠席の連絡をいただいております。また、飯田委員、坂本委員からは遅れる旨御連絡いただいております。</p> <p>本日の審議会でございますが、委員全員15名のうち、過半数の10名が出席していますので、「川崎市スポーツ推進審議会条例施行規則」の第4条第2項の規定により、審議会の開催要件は満たしていることを御報告申し上げます。</p> <p>また、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第5条第1項により、本日の議事は公開となっております。</p> <p>なお、本日、傍聴の申し出はありませんでした。</p> <p>また、議事録につきましては「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則」第5条の規定に基づいて作成することとされています。本審議会の議事録につきましては、発言者の名前を記載した形で、また、要約方式にて作成することとし、事務局にて案を作成したのちに、委員全員の御確認をいただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。以後の議事進行につきましては、</p>

齋藤会長	<p>齋藤会長へお願いしたいと存じます。それでは会長よろしく申し上げます。</p> <p>よろしく申し上げます。今回は議題が報告事項ということですので、先ほど高橋室長からもお話ありましたが、御協力いただきありがとうございます。</p> <p>たくさん資料ございますが、ぜひ皆様から御意見をいただきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。また御指名させていただく場合がございますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議事に移りたいと思います。</p>
齋藤会長	<p>2 議事</p> <p>(1) 令和5年度スポーツ関係事業 実施報告</p> <p>それでは、議事(1) 令和5年度スポーツ関係事業 実施報告について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>荻田課長 資料1-1に基づき説明</p> <p>※資料1-2、資料1-3について、後ほど各委員で御確認いただくよう説明</p> <p>齋藤会長 「基本方針2」の成果指標の状況の体力テストの結果について、県と市の比較が記載されており、なかなか記録が上がらないようです。全国的に見るとどのようになっているのでしょうか。</p> <p>末木課長 体力テストは、全国でも同じような調査をやっておりまして、小学5年生と中学2年生の全てにおいて、数値に関して言えば全国よりは低い傾向にあります。これはコロナ禍によつての運動機会が減ったことの影響が大きいのではないかと考えていますが、徐々に少しずつ、年々数値が上がってきてはいるものの、全国と比べるとまだ低い傾向がある状況です。各学校においてもこういった結果を意識した教育活動や体育活動をしていただくよう周知を図っているところです。</p> <p>齋藤会長 ありがとうございます。今年は全国に比べると低めですといった御報告をいただきましたが、皆さん御意見などはいかがでしょう。</p> <p>菊地副会長 体力テストについては、記録の向上を目指すのであれば、女子のソフトボール投げとかは事前練習をすると記録が伸びる傾向にあります。そういった取り組みをしている一部の都道府県との差が顕著に表れており、実際の学校の状況</p>

<p>山川委員</p>	<p>を見ていますが、数値としては出なくても劣っているとは感じていません。</p> <p>また、先程の報告にもありましたが、総合型地域スポーツクラブの会員数は増えてきています。以前はコロナ禍の影響を大きく受け、一番ひどい時は0人でしたが、今では千人となりました。コロナ禍があけて、また活動ができるようになって子ども達がもうすごく積極的に参加している様子が非常に見えており、大変嬉しく感じているところです。</p> <p>学校においても、体力テストの結果を受け止めているところがありまして、スポーツパートナーの力を借りながら、少しでも運動に親しめるように、少しでも体を動かせる機会を増やす、子ども達の目に触れる機会を増やすといった取組をしているところです。そういった目にふれる機会を増やすことで、子ども達が慣れて体を動かす機会が増え、全体的に体力の増進や、体力の記録が上がりながらも維持をすることができたらと考えているところです。</p>
<p>片倉課長</p>	<p>山川委員が発言されたとおり、スポーツパートナーも様々なところで協力しています。学校で使う運動の映像に選手の方が出演協力をしたり、ふれあい教室としてバスケット、バレーボール、アメフトなどを体験する機会を設けたりと、子ども達が体を動かすきっかけづくりとして、色々と協力させていただいているところでございます。</p>
<p>齋藤会長</p>	<p>ありがとうございます。この数値目標は達成しているが、新しい目標の再設定していく予定はあるのでしょうか。</p>
<p>片倉課長</p>	<p>目標が5000人以上で、令和5年度の実績が3万人なので目標を達成していますが、成果指標は4年間のスパンで設定しており、これのように目標が既に達成していたりするほか、逆に全然達成していない場合もあるため、すぐに目標値を変えるのではなく、計画期間が4年間ならその4年間は変えないようにするのが市の方針になっているというところです。今度は見直しのタイミングで、どのように目標の設定に内容を変えるのか検討していく予定です。</p> <p>参考となりますが、この目標が大幅に達成できた理由といたしましては、過去は市民招待の申込みは「往復はがき」で申し込みとじていましたが、ウェブ上で申し込みするように変更したことが1番大きな理由かなと思っております。さらに各スポーツパートナー各チームの方にお問い合わせをして市民招待となる対象試合を増やしていただいていることも大きく増えた理由です。</p>
<p>齋藤会長</p>	<p>そういった変えることによって大きく情報が届いているのですね。ありがとうございます。</p>

<p>高橋室長</p> <p>齋藤会長</p> <p>中島委員</p> <p>松山課長</p> <p>会長</p>	<p>補足ですが、スポーツ推進計画は4年間の計画期間ですが、市の総合計画と同じ4年間で策定しており、スポーツや文化などの各計画がその市の総合計画の分野別の計画という位置付けになっています。市総合計画においても数値目標を設定していますが、昨今の多様化している行政課題や市民ニーズを押し量る指標として適しているのかどうかといった意見が出ています。従前は数値目標を設定し、その目標に向かって達成していくといった手法でしたが、その手法を改める可能性も視野に入れながら検討していると伺っており、今後、数値目標の設定の方法が改められる可能性がございます。</p> <p>そうしますと、市総合計画の関連する分野別計画であるスポーツ推進計画の数値目標の設定についても、数値目標の設定の仕方が変わってくる可能性もあるところです。計画改訂の際は、スポーツ推進計画の数値目標についても、こういう場で御意見をいただきながら、検討していく必要があると考えております。</p> <p>その影響によって変わる可能性があるとのことですね。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p> <p>「基本方針3」のボランティアの数値目標は達成しておりますが、ボランティアを増やしていくには、どういった施策がありますでしょうか。</p> <p>この指標は、かわさき多摩川マラソン大会で、「車いすランの部」の開催や「特別支援学校生徒の招待枠設定」に伴って、障害者対応ができるボランティアの数は一定数必要になるため、成果指標として設定した経過があります。</p> <p>こちらの成果指標についてはどれだけ必要かというところがありますが、多摩川マラソンのボランティアでは数十名の方に応募いただき御参加いただいたところです。このボランティアに関する「やりがい」をしっかりとPRすることで、今後も増えていくと考えております。</p> <p>ほかに御意見・御質問がないようでしたら、次の議題に移ります。</p>
<p>齋藤会長</p>	<p>(2) 令和6年度上半期スポーツ関係事業 実施報告について</p> <p>続いて、議事2「令和5年度上半期スポーツ事業実施報告について」事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>資料2に基づき説明</p>

荻田課長	・生涯スポーツ、地域スポーツ（スポーツ室1～3）
片倉課長	・スポーツのまちづくり（プロ・企業スポーツ）（スポーツ室4～6）
松山課長	・競技スポーツ、パラスポーツ（スポーツ室7～13）
石床課長	・若者文化（スポーツ室14～16）
末木課長	・学校体育（学校体育1～3）
齋藤会長	報告事項ということでございますが、ただいま事務局から説明があった内容につきまして、委員の皆様から御意見などありますでしょうか。
齋藤会長	若者文化の機運醸成イベントの中でオリンピックの時にパブリックビューイングを実施されたとのことですが、一般の方やブレイキンをやっている方など、どういった方々が参加されたのでしょうか。
石床課長	パブリックビューイングにいらした方で、ブレイキンをしている方は1割もいないくらいだと思います。ブレイキンを見るのが好きな方を含めると半分強、残りの半分弱くらいは初めてブレイキンを見る方々がいらしていました。
高橋室長	大会前にブレイキンの露出が大変多く、特に Shigekix 選手はいろいろなCMに出演しており、そういった効果があって、パリオリンピックの情報を見て Shigekix 選手と Ami 選手は川崎市にゆかりがある選手だと知り、川崎市がパブリックビューイングをやっているなら行ってみようと思われ方も結構いらっしまったのではないかと思います。
石床課長	2日目の人数が多かったのは、1日目からのリピーターの方も多のですが、1日目のオリンピック中継で3回くらい川崎市のパブリックビューイングの様子がテレビに放映されて、こんなに盛り上がっているなら夜中に一人で見るよりここに行ってみようと思われ方も多かったと聞いております。
齋藤会長	メダル獲得を期待されていたということもあったのではないかと思います。
山川委員	市民体力テストについてですが、日にちなみ各区ごとに設定していると思いますが、中原区だけ特出して参加者数が多いのは、イベントを絡めて開催したのでしょうか。
荻田課長	区民祭の中で開催しております。
山川委員	他の区もこれくらい参加してもらえるといいと思い、策があるなら共有や横

<p>齋藤会長</p> <p>松山課長</p> <p>齋藤会長</p>	<p>展開ができればいいと思いました。</p> <p>また、地区別運動会を今年度はキラキラタイムで実施するとの説明がありましたが、地区別運動会は小6を対象に実施していましたが、キラキラタイムでの実施なので、6年生に限らず1年生から6年生まで、いつでもどこでもだれでも運動に親しめるものが種目の中には含まれています。</p> <p>川崎市スポーツフェスタに関わらせていただきましたが、今年は吉本興業が受託してお笑い芸人がいたこともあり大変盛り上がっていましたが、いかがだったでしょうか。</p> <p>手応えはかなりありました。小学校にチラシを配布しましたが、芸人が出るというのは大きかったです。また、御協力いただいた専修大学と吉本興業との企画で、新しいスポーツゲームを作っていただいて、そういった目新しさも魅力になったと思います。資料では参加者数を1,315組2,630人としておりますが、これは事前申込制のスポーツ体験教室に参加した人数で、実際にはその他にも体験ブースを出展しており、その参加延べ人数は1万人を超えております。ブースを何種目が体験するとイベントの最後の抽選で景品がもらえるということを実施したところ、今までは自身の種目が終わったら帰ってしまっていた方もいましたが、最後まで楽しんでいただけたといった実感はあります。</p> <p>ほかに御意見・御質問がないようでしたら、次の議題に移ります。</p>
<p>齋藤会長</p> <p>荻田課長</p> <p>齋藤会長</p> <p>齋藤会長</p>	<p>(3) 市民アンケートについて</p> <p>続いて、議事3「市民アンケートについて」事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>資料3 に基づき説明</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>前回の審議会、及びメールでの御意見を踏まえて、アンケートの調査内容についてはお手元の資料のとおりとなっております。</p> <p>今回は、委員の皆様から、主にアンケートを実施した後の集計や分析の方法などに関して、御意見や御提案をいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>回収率はどのくらいでしょうか。</p>

荻田課長	<p>前は49.1%ですが、1週間前は30%くらいでした。40%は厳しいと思います。前は督促状送っていましたが、今回は予算の関係で送ることができませんでした。</p>
齋藤会長	<p>3,000人に出して30%の回収率なので、統計上は大丈夫だと思います。もしかしたら明日たくさん来るかもしれませんから、期待したいと思います。その他、いかがでしょうか。アンケートについても、何かお気づきの点があれば御意見いただければと思います。</p>
齋藤会長	<p>集計や分析の方法については御意見、御提案ということにしていますが、こういった分析をするというのはありますでしょうか。</p>
荻田課長	<p>今後、単純集計のほか、クロス集計を行っていく予定となっております。クロス集計については、過去の手法を参考にしつつ、松澤委員にアドバイスいただきながら考えていく予定です。</p>
齋藤会長	<p>クロス集計というのは、単に設問の割合だけでなく、その中で回答した人が他の設問ではどのような回答をしているのかを掛け合わせて集計していくので、単純集計だけでは見えない部分が見えてくるのではないかと思います。中島委員、いかがでしょうか。</p>
中島委員	<p>そういう集計方法を知らなかったもので、参考になりました。</p>
齋藤会長	<p>結果が出てきてどういう風に分析するのかというところも面白いところですので、よろしくお願いします。</p> <p>ほかに御意見・御質問がないようでしたら、次の議題に移ります。</p>
<p>(4) その他</p>	
齋藤会長	<p>続いて、議事(3)その他について、事務局から情報提供がございます。</p>
松山課長	<p>資料3「かわさき多摩川マラソン2024」に基づき説明</p>
齋藤会長	<p>ただいまの情報提供について、御意見、御質問等ありますでしょうか。暑くて大変だったと聞きましたがいかがでしたか。</p>

松山課長	<p>当日は緊急搬送が7件あり、全て熱中症でした。ただ、その方々とは連絡を取っていて既に回復しているという連絡を受けています。</p> <p>やはり、昔ですと11月は涼しいイメージがあったところですが、今は温暖化や気候変動の影響を感じます。また、多摩川マラソンは日陰がないというところで、他の大会にある行きは暑いが帰りは日陰といった要素がないため、安全対策というのは、もう少し充実させていかなければいけないと感じているところです。</p>
齋藤会長	<p>先ほどボランティアがたくさん参加されたことと、実行委員として色々な方々、組織にご参加いただいたということを説明いただきました。資料には競技の参加者数などは記載されていますが、ボランティア、実行委員に関わっていただいている方々も支えるスポーツの文化として関わっていただいているため、その部分も資料に入ってくるといいと思いました。</p>
松山課長	<p>スポーツを「支える」人材の育成で言いますと、スポーツ推進委員が200名くらいです。また町内会や企業の方々のボランティアが300名を超えています。それ以外に小学校体育研究会、陸上協会などを合わせると600名～700名くらいだと思います。さらに、救護の方150名くらいを加えると800名くらいになります。そこに資料の写真にあります音楽隊やチアリーディングなど盛り上げてくださった方々を入れると、さらに増えると思います。そういった多くの支えがあって成り立っています。</p>
齋藤会長	<p>最後に本日の議題を通して御意見・御質問等がありますでしょうか。</p>
飯田委員	<p>全てのイベントにおいて人を集めたり、市民に対してやっていることは素晴らしいと思いますが、もう少し参加者数が多いと良いと思いました。</p> <p>今、パラスポーツとかeスポーツとかの話が出ていたと思いますが、皆さん「ゆるスポーツ」は御存知でしょうか。いもむしラグビーのように下半身が動けない方と一緒にスポーツが出来るものもあります。</p> <p>小学生のパラスポーツ体験会みたいなのもありましたが、健常者と障害のある人が分け隔てなく行うハードルが高くないイベントをもっと行っても良いと思いました。</p> <p>ただ、予算や既に注力しているスポーツが決まっていると難しいことがあると思いますが、体力測定などと結び付けて参加者が増えれば良いと思います。。</p> <p>くつしたまいれやベビーバスケットボールなどちょっと変わったスポーツもあるので、健常者やそうではない方や、年齢とか車いすの方など、様々な方</p>

<p>高橋室長</p>	<p>と一緒にやっている様子を見て、私自身も興味を持ちました。</p> <p>実は、川崎市は東京オリパラ大会を景気に、パラムーブメントの取組をしています。誰でも分け隔てなく多様な地域づくり、意識を育てるところで、教育関係や経済、スポーツ、文化といった取組をやりっぱなしではなく、レガシーとして残すにはどうしたらよいかについて、部会を設置して検討しています。</p> <p>スポーツに特化してお話させていただくと、スポーツはなかなかレガシーというのが残しにくく、実施団体やターゲットが違う中で、プラットフォームなどを作っても、それを活用して具現化していくということが見えづらいという部分がありますが、まずはできる事をということで我々が取り組んでいるのが、スポーツイベントを企画する時に、障害のあるなしや、年代を分け隔てなく、色んな方が参加しやすいイベントは何だろうと考えています。そうした中で幅広く視点を捉えて色々な改善点について御意見をいただくという意味合いで、世界ゆるスポーツ協会理事の萩原さんという方と戸沼さんという方にアドバイザーとして参加いただき、スポーツイベントを見ていただいて、何を改善したら目標に達することができるのか意見をいただくなど、模索的に行っているところです。今年度中に、見ていただいた結果を係長や係員の方と意見交換をして様々な視点の意見を伝えた結果として共有できないかと検討しています。そういったものが出来れば、スポーツイベント以外のイベントも区役所や地域に横展開していけるのではと思っております。</p>
<p>菊地副会長</p>	<p>令和5年度スポーツ実施報告（資料1-3）の6ページの37番に記載されている「スポーツインクルージョン縁日」は、飯田委員がおっしゃったとおり、障害を持った方と健常者が一緒にいろんなブースで体験をしていただくというイベントで、やっているもの全てを書ききれていませんが区でもそういうものを実施しています。</p>
<p>増山委員</p>	<p>「第2期川崎市スポーツ推進計画」（現計画）の進捗状況について（資料1-1）の2ページ（4）高齢者のスポーツの推進と運動による健康づくりとありますが、主な取組にある「シニアスポーツ教室」や「市老人スポーツ大会」など、少し特殊でほとんど参加が難しいです。</p> <p>そのため、普通の人に参加できるような取組として「かわさきTEKTEK（健康ポイント事業）」というものがあります。私の周りにも参加している人がいて、何歩歩いたかというのを気にしています。やはり基本は歩くのが一番健康のためだと思いますので、もう少し「歩く」というところに力を入れて、スポンサーをいれたり歩くようなイベントをやってもいいのではないかと思います。</p>

<p>高橋室長</p>	<p>いました。今は市制100周年の関係で施策も多いので、そういうところで歩くイベントを行って、歩いた分だけポイントを獲得できるとかでも面白いのではないかと思います。</p> <p>高齢者が元気になれば医療費が下がるので、そのあたり企画してくれたら面白いものが出来るのではないかと思います。</p> <p>確かにTEKTEKはすごく流行っているのは認識しています。</p> <p>齋藤会長がおっしゃった通り、行政内部で縦の事業だけでなく、コラボしていくのが大事というのは庁内で言われています。</p> <p>一つ大きなもので言うと「地域包括ケア事業」というものがあります。増山委員がおっしゃった通り、スポーツによって運動が習慣づくとも医療費低下も見込まれるというところもあるので、どういう形でコラボして相乗効果を生みだせるようにするかが命題だと思っています。</p> <p>計画ありきですと縦割りで視野が狭くなってしまうので、そのあたりは柔軟に連携を取りながら何が出来るか、という意識が行政内にも生まれつつあるので、我々からも積極的に仕掛けたり、地域住民からの御意見をいただくなど、アンテナを高くして仕事に取り組んでいこうと思っています。</p>
<p>大橋委員</p>	<p>「地域包括ケア事業」のお話をさせていただくと、フレイル予防といったところで、スポーツの視点を踏まえた健康維持は考えてはいますが、公園に集まったのラジオ体操は出られなかったりとジレンマがあります。そのあたり、子ども未来局の方々と検討会などをすることで前に進むのかなと思います。</p> <p>また、令和5年度スポーツ実施報告（資料1-3）の7ページ48番で乳幼児対象のスポーツイベントですが、900名近く参加があります。一緒にスポーツをするという親子交流という点や育児で悩んでいる方を抽出するなど、何かきっかけを通すことで、地域の問題が見えてくることもあると思いますので、連携が出来ればいいのではと思いました。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>当時30～40代の、子どもが手を離れた方々が今高齢になって、当時は体力をつけるための教室だったのが、現在は認知機能を高めるなど運動の中身が変化しています。</p> <p>スポーツはハードルが高いけど、チェアダンスのような椅子に座っていると参加しやすい部分があるので、プログラムの多様化のように色々な方々を拾っていけるような状況に持っていけるといいのかなと感じました。</p>
<p>室谷委員</p>	<p>パラスポーツ振興事業の川崎市障害者スポーツ大会の中に身体と知的と精神はありますが、ろうあが入っていないのですが、知り合いのろうあの方がこ</p>

<p>松山課長</p> <p>齋藤会長</p>	<p>ういう大会に出たいという声があるため、情報があれば提供していただきたいです。</p> <p>色々な方にスポーツの機会を、というところがありますので、色々な媒体を使って周知していきたいと思っています。こちらからも情報があれば提供させていただきます。</p> <p>それでは予定されていた議事は以上となりますので、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>水溜係長</p>	<p>3 閉会</p> <p>齋藤会長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局から次回の審議会の開催について御連絡いたします。</p> <p>日程調整させていただきましたとおり、第3回目は、3月24日（月）18時30分から開催したいと思います。</p> <p>本日と同じ101会議室で開催させていただければと存じます。</p> <p>それでは、以上で本日予定した事項は全て終了いたしました。</p> <p>皆様、本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。</p>